



都路ならではの  
色鮮やかな季節のうつろい。  
そのひとつひとつを暮らしの潤いとし、  
心豊かに暮らす人々がいます。



## 季節の鼓動が聞こえる豊かな自然。

ここ都路には、ビルが立ち並び、  
繁華街のネオンがきらめくよ  
うな近代的な華やかさはあり  
ません。けれど、野山を彩る色  
鮮やかな季節の輝きだけは、ど  
こにも負けません。

たとえば、五十人山をすっぽり  
つつむように花を咲かせるつづ  
じ色の春。行司ヶ沢の深い森  
をうめつくし、清らかなせせら  
ぎがこだまする若葉色の夏。  
高瀬川溪谷を色鮮やかに染め、

里に実りをもたらす錦色の秋。  
そして空が澄みわたり、星たち  
が舞う三日月色の冬。

ここに住む人々は、野山をわた  
る風に季節を感じたり、小鳥  
のさえずりや、窓にそそぐ陽の  
光で時を知る、そんな自然と  
ともに生きる暮らしを大切に  
してきました。

そしてこれからも、わたしたち  
は有史以来、受け継がれてき  
たこの美しい自然を大切に育

みながら、いつの時代にあつても、  
このおらかな自然と寄り添  
いながら心豊かに暮らしてい  
たいと思います。

21世紀が心の時代とするなら  
ば、未来の人々が理想とする  
生き方のヒントは、自然と共生  
しながら心豊かに過ごす、わた  
したちの暮らしの中にあるのか  
もしれません。

